

考古



士別市内では、46の地点から考古遺物の出土が確認されています。その中で、市の指定文化財として登録されている遺跡として、上士別遺跡があります。

上士別遺跡は、上士別町で発掘されたおよそ6000年前の縄文時代の遺跡で、昭和53（1978）年に士別市の指定文化財に登録されました。遺跡からは石器や土器など、約600点近くの遺物や、住居跡が発掘されており、当時の様子を知る貴重な遺跡となっています。



このほかにも、多寄町で発掘された多寄遺跡は、縄文時代の遺跡で、^{おしがたもん}押型文土器という珍しい種類の土器が発掘されています。

市内にはまだ多くの遺跡があると考えられており、今後の調査による新たな発見が期待されます。